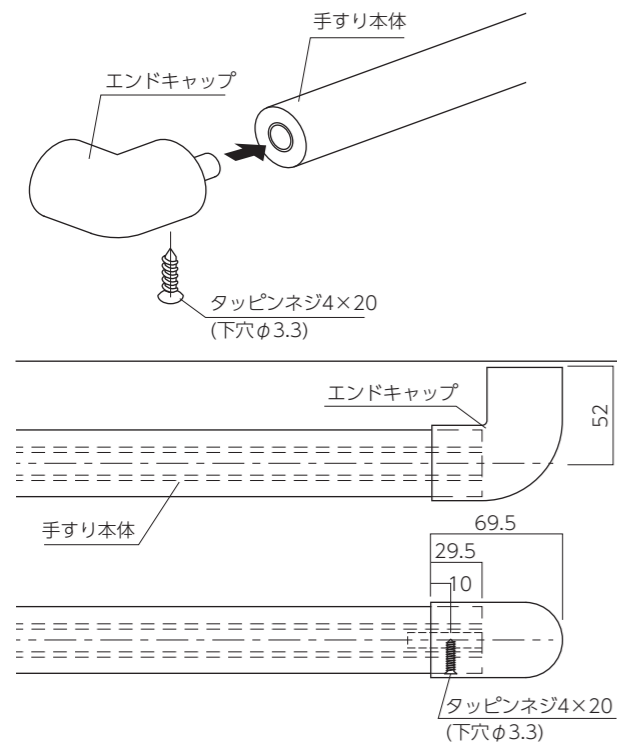
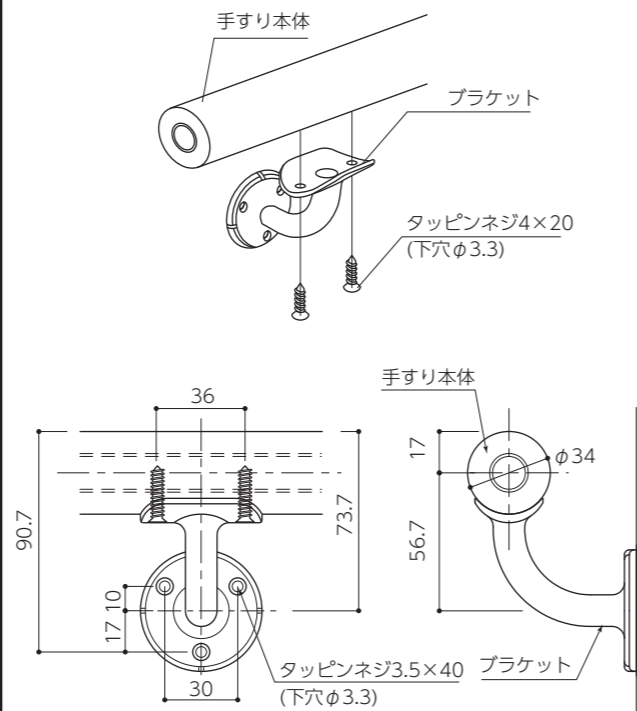


エンドキャップの取付方法



手すり本体は金ノコで切断できます。

手すりブラケットの取付方法

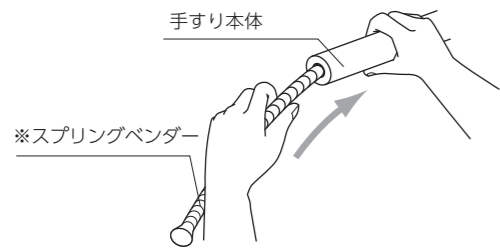


注意

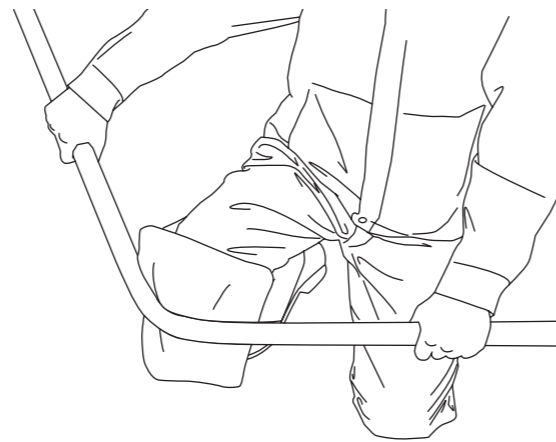
タッピンネジは30kgf・cm程度で締め込んでください。締め込みが強すぎるとネジ山を壊すおそれがあります。

手すり本体の曲げ方法(参考)

膝等を利用して折り曲げてください。曲げる際に、手すり本体のパイプ芯材にスプリングバンダーを差し入れて折り曲げると、手すりのつぶれを防いで、きれいに曲げることができます。曲げ終わったあと、スプリングバンダーを引き抜く際は、左に回しながら引き抜くと簡単に抜くことができます。無理に引き抜くとスプリング部分が伸びてしまい、使えなくなることがあります。



※スプリングバンダー購入の際は下記支店、営業所へお問い合わせください。



注意

楽楽[ら〜くらく]の手すり本体は、膝にタオルなどをあてがって曲げてください。膝の負担が少なく、より曲げやすくなります。

お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。

やさしさと安心を たしかな技術で支えます。

ナカ工業株式会社 URL <http://www.naka-kogyo.co.jp>

ナカテクノタール株式会社 URL <http://www.naka-techno.co.jp>



携帯のカメラで左のQRコードを読み取りアクセスしてください。

取扱説明書

室内手すり 楽楽[ら〜くらく]

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく使用してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号、絵表記の説明

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お願い

この記号は必ず実行していただきたいことを告げるものです。



この記号はやってはいけないことを告げるものです。

お手入れ方法

お願い

- いつまでもきれいに使用いただく為に定期的なお手入れをお願いします。ふだんはやわらかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布で拭き、その後水拭きをしてください。仕上げに乾拭きして、水分を完全に除去してください。
- 定期的にネジの締め具合を確認してください。ゆるみやガタツキがある場合はドライバーで締め込んでください。

注意

酸性、アルカリ性洗剤は使用しないでください。酸性、アルカリ性洗剤、ベンジン、シンナー等はツヤがなくなったり、変形、変色の原因になりますので使用しないでください。



クレンザー、磨き粉は使用しないでください。クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤、ナイロンタワシなどの傷を付けやすいものは使用しないでください。



ご利用の前に

警告

ガタツキがあるものは使わないでください。

本製品にガタツキ等の不具合が発生した場合、そのままご使用を続けると、手すりが外れて重大事故につながる場合があります。その様な場合は直ちに使用をやめ、最寄りの弊社相談窓口にご連絡ください。



製品を分解・改造しないでください。

施工後は固定部のボルト等をゆるめたり、製品を分解・改造しないでください。使用時に脱落したり予期せぬ故障の原因になるばかりか、重大事故につながる場合があります。



注意

強い衝撃を与えないでください。

本製品に物をぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。手すり部分が破損し、思わぬケガの原因になります。



火を近づけないでください。

本製品にタバコなどの火を近づけないでください。変形、変色の原因になります。



製品にぶら下がらないでください。

本製品にぶら下がると、手すりが曲がったり、ブラケットが破損し、思わぬケガの原因になります。



破損があるものは使わないでください。

手すり部分にささくれ、大きなヘコミ等の破損がみられた場合はすぐに使用を止めてください。手にケガをする恐れがあります。



お願い

本製品に、破損や樹脂のめくれ等がみられた場合はすぐに使用を止めて、最寄りの弊社の問い合わせ先へご相談ください。



施工要領書

室内手すり 楽楽[ら~らく]

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく施工してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。不適切な施工により発生した事故は当社は責任を負いかねます。

用語および記号、絵表記の説明

- ⚠ 警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠ 注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
- ❗ お願い** この記号は必ず実行していただきたいことを告げるものです。
- 🚫** この記号はやってはいけないことを告げるものです。

セット内容

- ❗ お願い** 施工前にセット内容をご確認ください。
- 使用工具はあらかじめご用意ください。

手すり本体(笠木 L=3,025mm)半硬質樹脂成形品・木目調	2本
エンドキャップ(右用・左用) 樹脂成形品	各1コ
ブラケット 金属製	9コ
ジョイナー 樹脂成形品	1コ
ジョイント芯材(アルミ棒)	1本
タッピンネジ(3.5×40ブラケットと壁固定用)	27本
タッピンネジ(4×20手すり本体とブラケット固定用)	18本
タッピンネジ(4×20エンドキャップと本体及びジョイント芯材固定用)	4本

使用工具

- ドライバー
- 電動ドライバー(ドリル兼用)
- 鉄用キリ(φ3.3, φ3.7)
- 金ノコ
- チョークライン
- スプリングベンダー(別途販売いたします)等

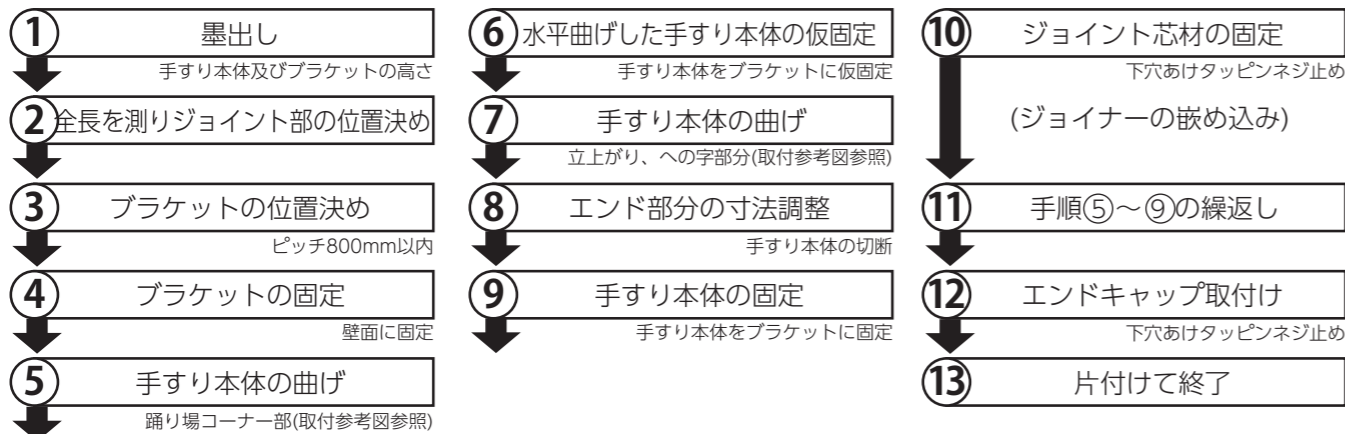
- ⚠ 注意** 電動ドライバーでタッピンネジの締め付けをする場合、トルクは30kgf・cm程度で使用してください。
- インパクトドライバーはタッピンネジのネジ山を壊すおそれがあるので使用しないでください。

施工手順

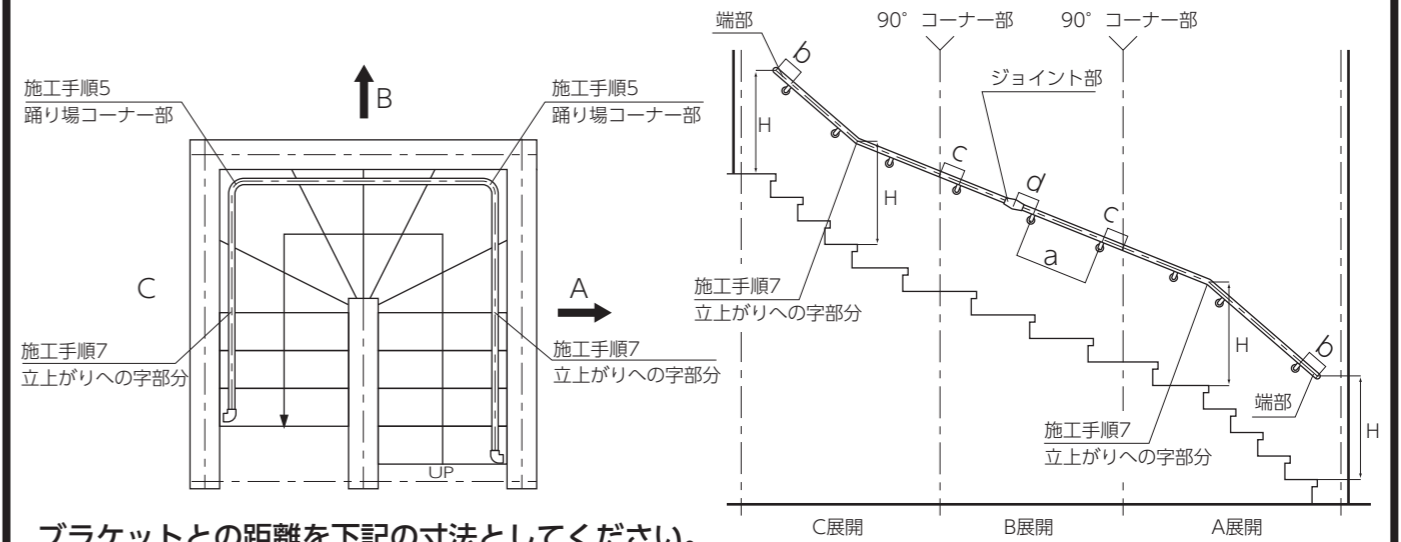
1. 現場状況の確認

壁の仕上りが完了していること。また手すり取付部に壁の下地があるかを確認します。

2. 施工フローチャート



取付参考図

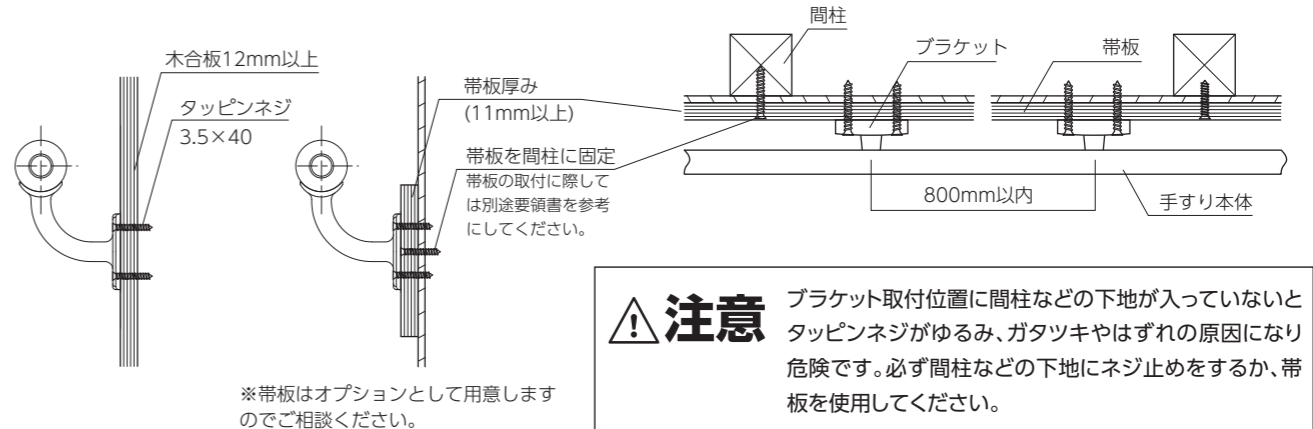


ブラケットとの距離を下記の寸法としてください。

a: ブラケットピッチ	800mm以内
b: 端部	100~150mm
c: コーナー部	180mm程度(片側のみ)
d: ジョイント部	100~150mm(片側のみ)
H: 手すり高さ	推奨高さ750mm

- ⚠ 注意** ブラケットの間隔は800mm以内で取付けてください。800mm以上で取付けた場合は手すりの強度が弱くなります。

下地への取付例



手すりジョイント方法

